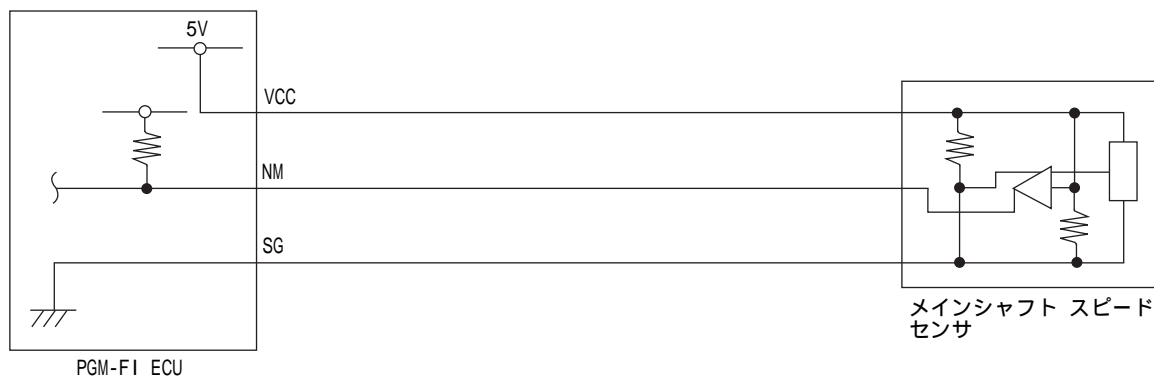


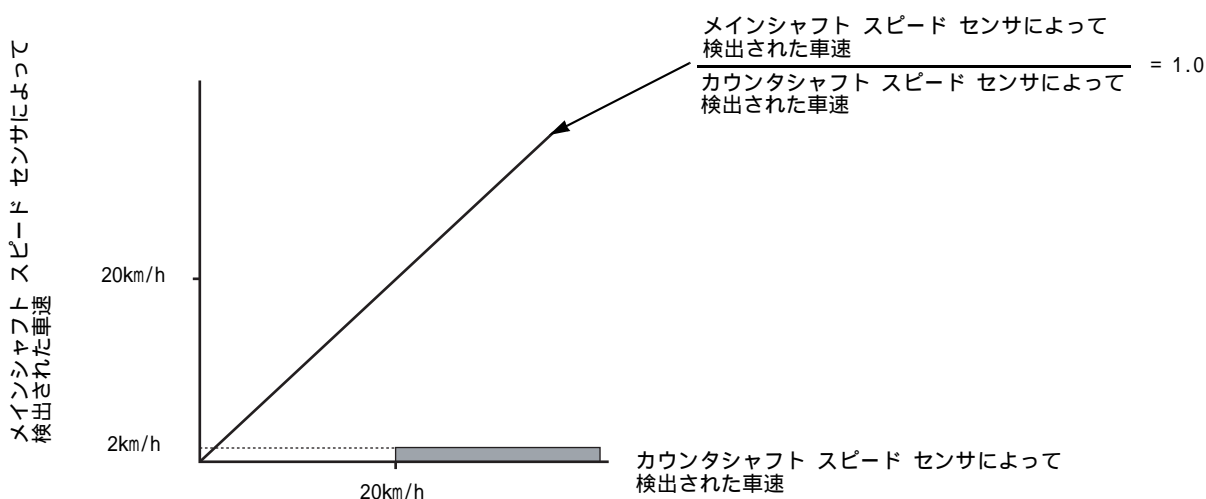
DTC 解説

DTC P0717: メインシャフト スピード センサ短絡または断線 (信号無) (AT システム)

検知原理解説



01_P0715C_SMGA00



01_P0717G_SMGA00

メインシャフト スピード センサは、トランスミッション ケースに取付けられている。
メインシャフト スピード センサは、メイン シャフト外周に備えられた回転数検出用ギヤの回転を検出し、回転数に応じて変動する周波数の電圧信号を発生させる。この信号は PGM-FI ECU へ送られ、メインシャフト回転数の測定に使用される。
メインシャフト回転時におけるメインシャフト スピード センサ パルスの欠落等を、PGM-FI ECU は故障として検出する。故障は断線あるいは一時的な断線、短絡により発生する。
メインシャフト スピード センサとカウンタシャフト スピード センサの検出速度差に異常がある場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

DTC 解説

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

| | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 検知頻度 | 常時 |
| (当該 DTC の) 検知順序 | なし |
| 検知所要時間 | 10 秒間以上 |
| 検知手法種別 | 1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅 |
| OBD ステータス | 正常判定、故障判定、未完了 |

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

| 条件項目 | 下限 | 上限 |
|------------------------|---|----|
| エンジン回転数 [エンジン回転数] | 500rpm | |
| 車速 [車速] | 20km/h | |
| バッテリー電圧 [バッテリー電圧] | 11V | |
| セレクト レバーのポジション | D、2、1 | |
| 当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC | P0705、P0706、P0716、P0721、P0722、P0962、P0963、P0966、P0967、P0970、P0971、P0973、P0974、P0976、P0977、P0979、P0980、P0982、P0983 | |
| その他 | 変速中でないこと | |
| | シフト ポジションが一定であること | |
| | カウンタシャフト スピード センサ出力にノイズが混入していないこと | |

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

カウンタシャフト スピード センサから検出された車速 [カウンタシャフト スピード] が 20km/h 以上の時、メインシャフト スピード センサから検出された車速 [メインシャフト スピード] が 2km/h 以下の状態で 10 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (NM ライン) の短絡
- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (VCC ライン) の断線 (カプラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (NM ライン) の断線 (カプラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (SG ライン) の断線 (カプラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ メインシャフト スピード センサの故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. 車速 [車速] 20km/h 以上で 10 秒間以上走行する。
 - ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。